



## 第36回 全国高等学校IT・簿記選手権大会

後援 文部科学省・全国47都道府県教育委員会・日本商工会議所

主催 学校法人 立志舎

# 山商同窓会誌

第六十四号

発行 三重県立宇治山田商業高校  
山商同窓会  
印刷 和 田 幸 夫  
カイガウイン

## 三重県勢初の快挙!!

全国高等学校IT・簿記選手権大会 団体・個人全国優勝

## 少子高齢化の問題



同窓会会長 和田幸夫

新聞の紙面に毎日のように出ている標題の「少子高齢化」について考えてみよう。なぜ少子高齢化になるのか。それは子供を産む数が少ないからだ。なぜそうなるのか。現在、20代の離職率が最も高く、若年層の所得水準が低いのも一因だと考えられる。正規社員を辞めて派遣社員になってしまつと、昇給も賞与もあまり期待できない。特に結婚適齢期の若者の所得の低いことが大問題である。また、「草食系男子」とか、「オタク」とか、結婚に抵抗を感じる男性が昔に比較して増加しているのもあると思われる。一番大きいのは、将来に対する「希望」「夢」がないことではないだろうか。このような問題を解決するためには、若年層に対する積極的な施策・対策が必要である。

我々同窓会に直接響いてくるものとして、数年後に入学者が数百人単位で減少してくるということがある。特に、三重県でも北勢地区に比べ南勢地区は減少の度合いが大きいので、今後どのような状況になっていくか、会員の皆様方もぜひ関心を持っていただきたい。同窓会としても、県教育委員会、学校と連携をとり、より良い方向に向かうよう努力していきたいと思っておりますので、なお一層のご支援をお願いいたします。

## 同窓会誌の改革について

日頃は山商同窓会活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。  
さて、ご周知のことと思いますが、昨年度、同窓会誌に同封する方たちで左記のような案内の文書を送らせていただいております。

1. 今後も印刷物としての同窓会誌の郵送を希望される場合は、別紙の返信ハガキに必要事項を記入のうえ、投函していただく。
2. 当面、平成29年度までは、全同窓会員への同窓会誌郵送を継続する。
3. 準備ができ次第、印刷物としての同窓会誌発行と並行して、山商同窓会ホームページの中にデジタルデータとしての同窓会誌をアップロードしていく。

つきましては、今年度も昨年度に引き続き、別紙の返信ハガキ（代金受取人払い）によるアンケート調査を実施させていただきます。郵送による同窓会誌の送付を希望される場合は、お手数ですが、返信ハガキに必要事項を記入のうえ、投函をお願いします。投函は、平成29年3月31日までにお願います。期日を過ぎますと、会員の皆様にお断りさせていただきます。期日を過ぎますと、会員の皆様にお断りさせていただきます。期日を過ぎますと、会員の皆様にお断りさせていただきます。期日を過ぎますと、会員の皆様にお断りさせていただきます。

来年を含む3年間の間に返信がなかった場合は、原則として平成30年度以降、同窓会誌の郵送を停止させていただきますこととなりますので、ご了承ください。



# 知識の活用能力の向上を目指す山商の教育



校長  
勢力 稔

## 1. はじめに

山商では、専門的職業人として必要な「ビジネスの現場で求められる資質や能力」の育成と知識の活用を図っています。その中で、成果を上げている取組を今回は国際科を中心に報告します。

## 2. 小学校との協働による英語会話力の向上

今年度、当地域で行われた「伊勢志摩サミット」に関連した小学校英語活動を支援した取組を紹介します。

伊勢市立中島小学校では、伊勢志摩サミット開催に向けて「おもてなしの心で、私たちの伊勢市を英語で紹介しよう」をテーマに英語活動の時間を計画しました。

この取組での国際科のねらいは、英語活動の指導、助言役を担うことで「活用できる英語力」を確かなものにするものでした。活動内容として、挨拶等日常会話、伊勢市駅からの道案内仮想体験、英語を活用したゲーム等、伊勢志摩サミットで訪れる外国人観光客をおもてなしの心で接するというコミュニケーションの模擬体験を設定しました。

授業後、児童からは「高校生はほとんどが、英語がぺらぺらでした。『来年はサミットがあるからいっぱい練習しよう。』と言ってくれました。」「やっていると、すごく楽しくわかりやすくて、すごく面白かったです。私は、英語

は難しいからやりたくないと思っていたけれど、お姉さんたちのおかげで英語が大好きになりました。」「等の感想がありました。

小学校長からは「子どもたちの反応や、授業の感想から『英語を話すモデル』として高校生にあげられの気持ちを持ちたり、目標としたりして、英語活動に親しみ、意欲的に取り組もうとする。本活動のねらいが達成できたと確信している。』と評価を受けました。



英語カルタ取りとクイズ



駅前を想定した道案内

## 3. 伊勢志摩サミットにおける英字新聞の発行

平成28年度に、みえ伊勢志摩サミット推進局、三重県教育委員会の支援の下、伊勢・鳥羽・志摩地域を中心に、県内の伝統・文化、産業、食、並びにジュニアサミットや知事のサミットへの熱い思いなどについて、生徒自らが取材し作成した英字新聞「THE YAMASHO TIMES」を、観光協会や地元宿泊施設、土産物店、地元事業所等を通じて、外国人観光客等やサミット関係者向けに8ページ2万部を配布しました。

ミット推進局、三重県教育委員会の支援の下、伊勢・鳥羽・志摩地域を中心に、県内の伝統・文化、産業、食、並びにジュニアサミットや知事のサミットへの熱い思いなどについて、生徒自らが取材し作成した英字新聞「THE YAMASHO TIMES」を、観光協会や地元宿泊施設、土産物店、地元事業所等を通じて、外国人観光客等やサミット関係者向けに8ページ2万部を配布しました。



英字新聞 THE YAMASHO TIMES

ESS部員が三重県庁を訪ね、知事へのインタビューを行い、知事のサミットへの思いや、サミット会場として伊勢志摩を設定した理由、若者へのメッセージ等、三重県でサミットが開催されるまでのいきさつを取材しました。他の記事は、Welcomeメッセージ、三重県の漁業や宝飾品などの特産品、食文化や伊勢神宮を始めとする伝統文化、及び三重のオリンピック金メダリストの紹介等、初めて三重県を訪れるサミット関係者や外国人観光客が興味を持って読める内容にしました。

また新聞の構成や見出し、記事

の配列等、英字新聞の作成に関する技術的な部分を「THE JAPAN TIMES」の関係者から指導を受けることにより、生徒たちは新聞発行という情報の表現方法を体得しました。このことはビジネス英語分野としては考慮すべき視点でもあり、貴重な体験をさせることができました。



各国選手とのコミュニケーション



伊勢神宮ガイド

## 4. 国際地学オリンピックの実行委員とアテンド

8月には、三重県で平成28年度「国際地学オリンピック2016三重大会」が開催されました。大会のセレモニー等の企画・運営を通して世界各国の高校生と交流を深める生徒実行委員や、出場選手が調査や見学を行うとき、英語で

案内等を行うアテンドを本校国際科1・2年生78名が担いました。地学オリンピックには31カ国から124名の高校生が参加しました。参加国は欧米からアジアまで様々で、対応は柔軟な英語力やコミュニケーション能力が求められ、真に実践的な取組となりました。

交流当日は、伊勢市の「おはらいまち」から伊勢神宮までの行程の中で親交を深めました。

外国人選手からは、フィールドワークで打ち解け、楽しかったとの感想が聞かれました。1日の終わりに、山商生、外国人高校生共に垣根がなくなり、国を意識させないくらい同じ高校生として親しくなり、笑顔で握手や肩組する様子があちこちで見られました。

本校生徒の様子で特徴的だったのは、普段の授業やスピーチテストでは見ることができない姿勢が見られたことでした。特に、英語圏の文化や風習、考え方に関心を持ち、間違えを恐れず積極的にコミュニケーションしようとしている姿勢は好評でした。

## 5. おわりに

以上報告したように、学校外の様々な学習の場に進んで出かけ、生徒一人ひとりがそれぞれの役割を担い、自主的に活動することで知識を活用する体験を多く行っています。

また、英語以外の商業専門科目、普通科目及び他の教育もアクティブ・ラーニング型授業の試みを実践しています。

そのことで、知識の活用能力を向上させるとともに生徒の大きな自信となつて次の活動につながる、いずれ社会で生きる力となつていくことを確信しています。



# 今年度のクラブ成績

## 陸上競技部

平成28年度の山商陸上部は男子58名、女子41名、マネージャー7名の計106名で「日本一」を目指して日々活動しています。

今年度の全国高校総体は岡山県総合グラウンド陸上競技場で7月29日から8月2日まで開催され、14名が出場しました。また、その中から、男子円盤投げの中村京平が8位、男子400mリレーが8位と2種目で入賞することができました。19年連続で全国インターハイ入賞となります。

第4回の全国高校選抜陸上大会では3年生の山本フエビアスが300mハードルで、2年生の山田琴美が三段跳びで共に7位に入賞しました。

県高校総体では男子が19年連続、女子が11年連続総合優勝をすることができ、伝統を受け継ぐことができました。

東海高校総体では、男子が3年連続の総合優勝を果たすことができました。今後も、努力を惜しまず、日々精進してまいりたいと思います。

各大会の詳細結果は次の通りです。

### ■平成28年度全国高等学校総合体育大会陸上競技

男子円盤投げ

第8位 中村 京平

男子4×100mリレー

第8位 小見山泰周

第8位 阪口 智也

川端 魁人

上山 紘輝

### ■第4回全国高等学校選抜陸上競技大会

男子300mハードル

第7位 山本フエビアス

女子三段跳び

第7位 山田 琴美

### ■平成28年度東海高等学校総合体育大会陸上競技

男子総合 優勝（3年連続）

全国大会に14名が出場

### ■平成28年度三重県高等学校総合体育大会陸上競技大会

男子総合 優勝（19年連続）

女子総合 優勝（11年連続）

男子フィールド 優勝

男子トラック 優勝

女子フィールド 2位

女子トラック 2位

## 相撲部

今年度も激闘があつた試合ばかりですが、各大会で良い結果を残すことができました。

県高校春季大会では、昨年度取られた優勝旗を取り返すことができました。県高校総体体育大会では、厳しい戦いでしたが団体優勝・個人2名優勝、第3位となりました。

県高校総体の連続優勝記録を更新し、19年連続となりました。東海高校総体では、強豪校を破り団体3位という結果になりました。

全国高校総体体育大会（8月2日～5日鳥取県）では、個人戦は1勝したものの予選で敗退してしまいました。しかし、団体戦では全員が勝利を収め、決勝トーナメントに残りました。

今年度は全体で見ても良い結果を残すことができ、大きく成長できました。今後もこれまでに以上に練習を積み重ね、国民体育大会・新人戦で上位入賞できるように活動していきたいと思います。同窓会の皆様の応援よろしく願います。

## コンピュータ部

第36回全国高等学校IT簿記選手権大会で、団体・個人ともに全国優勝することができました。この優勝は本校としても、三重県としても初のことであり、山商の名前を全国に知らしめることができましたと自負しています。



大会は、8月4日に東武ホテルレバンド東京で開催され、披露宴などにも使われる立派な会場で行われ、気後れするほどでした。全国6ブロックを勝ち上がったチームと、成績上位チームの30校が得点で競いますが、野球やサッカーのように途中経過がなく、成績発表の時まで順位なども分かりません。閉会式まで緊張していました。成績発表では、下位から順番に学校名が発表されますが、準優勝の発表の瞬間まで「まだ呼ばれるな！」と祈る気持ちで聞いていま

した。最後優勝校として「三重県立宇治山田商業高等学校」と学校名が呼ばれた瞬間、夢かと思いましたが、優勝できた喜びが湧き上がってきました。壇上に選手全員が整列し、表彰を受けましたが、優勝カップの大きさや優勝旗の大きさと重さに驚きながら、改めて優勝した実感が沸いたのを覚えています。

3年生にとつて最後の全国大会でしたが、前日の夜、3年生全員で「どんな結果でも笑って帰ろう」と話していましたが、最高の結果で終わることができました。そして一生の思い出となりました。

これまで同窓会の皆様のご支援をはじめ、沢山の皆様に応援いただきました。改めて御礼を申し上げます。そして、来年度は連覇をかけて後輩たちが頑張ります。今後ともご声援をよろしくお願いいたします。

### ■第36回全国高等学校IT簿記選手権大会

(IT部門)

団体の部 優勝（初）

個人の部 優勝

同 向井 洋喜（3年）

同 溝口 歩（3年）

(8月4日東京都東京IT会計専門学校にて開催)

(EF部門)

団体の部 準優勝

個人の部 6位

同 松本 利駒（3年）

個人の部 9位

同 溝口 歩（3年）

(7月20日東京IT会計専門学校名古屋校にて開催)

### ■第28回全国高等学校情報処理競技大会

団体の部 3位

個人の部 9位

同 溝口 歩（3年）

同 12位

同 向井 洋喜（3年）

同 30位

同 千種 水滸（2年）

### ■第8回全国高等学校情報処理選手権

団体の部 3位 山商Aチーム

(川畑優太・松本利駒・溝口歩・山神真由・向井洋喜)

同 5位 山商Bチーム

(北川翔一・城山湧希・竹内聖・竹中瑞樹・千種水滸)

同 9位 山商Cチーム

(浦羽香那・菊川剛志・染井杏香・西口英里・加藤智士)

個人の部 優勝

同 向井 洋喜（3年）

(8月2日本校コンピュータ室からオンラインで参加)

## 第71回希望郷いわて国体へ

今年も三重県選手団の一員として、次の生徒を国民体育大会へ送り出しました。

### ■陸上競技

少年共通円盤投げ

3年 中村 京平

少年A棒高跳び

3年 阿部 圭吾

少年共通棒高跳び

3年 出口 瑞歩

少年共通三段跳び

2年 山田 琴美

少年男子3年

少年男子2年

南 昇希

### ■相撲

少年男子3年

少年男子2年

南 昇希



80期 福井 正浩（総務、同窓会誌発行・保管）

本年度の人事異動

激励金として各クラブと個人にお渡ししました。

# 協賛金について



30期	荒木 幸夫	38期	北山 和司	40期	森 新一	樋口 寛	42期	吉川 四郎	44期	西村 保男	山路 巖	阪本寿美友	中川久寿生	43期	貝登 勝	市川 元久	大畑喜代司	古川 貞男	44期	辻井 由生	河俣 平男	松室 茂	森本 正保	吉川 貞夫	45期	廣 照夫	大井 俊明	高尾 雄三	井上 隆博	増川 公致	市川 浩	松葉 重周	46期	西崎 春二	喜多川 一夫	47期	田端 英夫	西浜 武	中村 英明	高畑 米松	大崎 輝雄	大泉 恒夫
30期	海津喜八郎	38期	神林 美寛	40期	立松 源行	三村 功	米田 隆史	田中 耕次	48期	井上 太助	柳本 雅夫	若林 康夫	村井 護	西井 輝行	山本 宏	辻村 彰夫	白井 幸子	坂本 精吉	田中 実	市野 弥	辻村 修一	堀口 幸久	太田 和行	島上 孝夫	清水 敏行	林 邦夫	森 邦夫	西井とし子	奥田 守	島田 厚	大南 勝美	49期	西川 光白	奥野 和男	松本 良平	山本 晃	増田 芳忠	三宅 輝雄	岡井 保	大川 勝弘	51期	西井 邦雄
30期	和田 幸夫	38期	佐伯 爲次	40期	藤原 保宏	加藤 光政	池田 憲治	滝本 容子	鈴木 寛治	小林 敦	井村 浩子	中北 幸得	三橋 均	有 志	52期	小畑田二六生	西澤 曉美	中村 幸也	上村 紀男	山根 正好	川合 宏明	芝田 功	山口 義紀	井村 莞爾	松井 良一	奥田 茂雄	川口 欽也	中谷はま子	浜地 富雄	松月 清	中屋 俊昭	笹原 薫	55期	二ヶ月 勝	馬瀬 憲章	山畑 寛	浜口 勝美	有志 51名	56期	田嶋 良衛	野呂 和子	奥谷 克司
30期	桜井 盛也	38期	渡辺 武	40期	世古口久夫	奥野 武	山本 和光	58期	斉藤 幸代	中西 延吉	吉沢 剛	59期	尾崎 正	西山 春芳	西本 定司	中川 健	60期	林 幸司	吉川 英生	小林 幸一	水谷 美久	安江 まち	61期	岩崎 憲二	磯 喜久	石津さち子	小久保茂樹	村林 明美	山本 きみ	62期	小田 享	横山 秀子	高橋 輝男	村瀬 定光	西田 早苗	小倉 明美	吉川 章正	古野いつ子	川合 律子	63期	松田 芳雄	赤堀 行保
65期	橋本さち子	66期	山中 宏幸	67期	倉世古隆弘	松下 信子	69期	牛場 敏行	上村 弘	西岡 尚美	濱口 政照	奥野 幹彦	70期	増田 幸信	71期	濱口 正孝	間瀬ひとみ	杉田 智美	中村 真一	72期	森川 和重	松井 久則	小川 昌美	山本 顕	山本 眞南人	村野 陽規	玉置 純花	73期	野村 一弘	北川 哲也	浜地 弘	76期	梅元 渉	中村 芳弘	安藤真美果	77期	片岡ひとみ	平松 宏紀	平松 弘美	80期	松尾千代子	畑 晶子
83期	藤川 哲	86期	西村ゆかり	89期	城山なつき	松月 大	95期	松月 拓	田村 育美	97期	結城 正浩	100期	山本 健太	106期	三宅 遥	向山 高弘	107期	増田貴信郎	108期	家田 真弥	中森 仁大	里中 優香	山田 眞南人	村野 陽規	玉置 純花	実女	堀池喜代子	女商2期	山本 操	旧職員	山口みち代	北岡 信宏	小川 徹	高沼 秀俊	鈴木 光一	片山 黎	清水 俊和	(敬称略順不同)				

●東海支部だより

当日は、同窓会本部から和田会長・倉世古副会長、母校から水谷教頭先生ほか同窓会事務局の先生方、さらに、関西支部から小林副支部長（60期）、山崎副支部長（60期）ら多くのご来賓のご出席を賜りそれぞれ丁寧な祝辞をいただきました。

支部長55期 浜口 勝美

【平成27年度支部総会日程】

平成27年の関西支部の総会は12月5日(土)『空中庭園で会いましょう!』をテーマに梅田スカイビル39階にある「中華料理 燦宮(サングウ)」に於いて行われました。①総会において、山商同窓会大阪支部は、その名称を『山商同窓会関西支部』に変更することに決定しました。②役員の変更、支部長佐伯爲次氏(51期)辞任に伴う改選の件、長らく支部長の要職をされました佐伯爲次支部長から、体調不良もあり辞任したいとの申し出があり、その素晴らしい実績から、是非継続してほしいとの声が沢山寄せられました。佐伯氏の辞任の意思も固く療養に専念していただき早くお元氣になれることを念願し、次期支部長に



和田会長から山商同窓会の現状とその役割の重要性、伊勢の経済情勢等の身近なお話、水谷教頭先生から山商の進学実績、部活動等

平成 28 年 11 月訂正

56 期 寄附者

誤	正
奥谷 克司	谷奥 克司

ご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。



浜口勝美氏(55期)を選任いたしました。  
新支部長は、佐伯前支部長の方針を引き継ぎ、多くの会員に参加していただける支部運営を実現するとの抱負と前支部長の労に感謝の意を表明されました。  
尚、副支部長 中井英夫氏(49期)の後任に、山崎豊昭氏(60期)と小林幸一氏(60期)が選任されました。



平成27年度 山商同窓会大阪支部総会

【平成28年度支部総会日程】  
『大阪レトロ旅』をテーマに、阪堺電鉄の「路面電車」(いわゆるチンチン電車)を貸し切り阪堺上町線「天王寺駅前」(あべのハルカス前)から堺の浜寺公園駅までの往復の旅を企画いたしました。車内での総会・懇親会となります。大阪南部のチンチン電車に乗って下町の道路を走ります。車内は、特別仕立ての車両で、テーブルが4個、バーティ仕様です。大いに料理、お酒、思い出話をお楽しみ下さい。定員が30名のため、先着順とさせていただきます。お早めにお申し込み下さい。

みく下さい。

ご家族・友人の参加も歓迎いたします。是非ご参加ください！  
左記の要項で開催します。

日 時 12月4日(日)

(集合 午後12時)

帰着時間 午後12時30分発

午後2時55分着

集合場所 阪堺電鉄上町線「天王寺駅前」駅の前

最寄り駅(連絡駅) J

R「天王寺駅」・地下鉄

「天王寺駅」・近鉄南大

阪線「大阪阿部野橋駅」

会 費 一般会員 9千円

女性会員 7千円

104〜108期 5千円

新入会員 招待

ご家族・友人等 5千円

詳しくは、関西支部のホームページをご覧ください。

http://www.21-open.net/yos/

連絡先 関西支部事務局

〒536-0016

大阪市城東区蒲生1-13-13

阿乗税理士事務所

阿 乗 安 弘(78期)

TEL 06-6939-8805

FAX 06-6939-7951

E-mail: yamasho.osaka@gmail.com

※出席希望者は、11月25日(金)までにお申し込み下さい。

最後になりましたが、山商同窓会愈々旺盛なる発展、会員皆様様益々のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、日本各地で発生している災害で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

# 我がつどい

## 山商47期同窓会雑感

D組 奥出 裕志

傘寿を人生の区切りの一つとして、同窓会を伊勢シティホテルで催された。

男女併せて約60名の参加者である。奇しくも11年前の同窓の参加者と同数である。

人生は「後ろを向いて走る訳にはいかない」と懸命に前を向いて走って来た仲間が一堂に会したのである。肩をたたき、抱き合いながらの再会を喜び合う姿に高校時代の笑顔がのぞく。思わず作家の吉川英治の言葉が思い出される。

「ボクが淋しいと思うのは同窓生がいけないことだよ。学校友達が多いことはうらやまい」正に、著名な作家がうらやむ友達の数である。

そして、話題の中心は青春時代、ここは阿久悠の詞を借りる。

夢は砕けて夢を知り  
愛は破れて愛を知り  
時は流れて時を知り  
友は別れて友を知り

正に、この詞を経験して齢、80才そして、再び、堀口大学の詞を借りる。

暮しは分が大事です  
気楽が何より薬です  
そねむ心は自分より  
以外のものは傷つけぬ

この詞を心に借りて「人の一生、長くてよいことも多い。」と思うこの頃です。



山商47期同窓会  
2017(平成28)年6月7日

平成28年6月7日は全員の元気な姿に接し「元気の素」ともいふべきものを領けてもらった意義ある楽しい3時間の一夕であった。

## 卒業して55年最後の同窓会開く(54期生)

54期生(昭和36年3月卒業)の同窓会が、平成28年10月1日(山商創立記念日)(10月1日)伊勢市パルピアホテルで開催された。当日の出席者は、46名(男子38名・女子8名)であり、遠くは埼玉・千葉・神奈川・大阪・奈良から、久しぶりの顔、初めての顔も集って、会場は笑い声であふれた。54期生は、昭和33年4月に入学、その年に商業・工業・定時制がそれぞれ分離独立した。そして昭和



山商54期同窓会 2016(平成28)年10月1日

36年3月に卒業し、今年で55年が過ぎようとしています。来年は後期高齢者(75才)の仲間入りになり、つくづく体力の衰えを感じる年令になりました。同期生で悲しい便り28名の仲間が物故になり残念でなりません。  
同窓会の内容は、出席者全員で集合写真を撮り、物故者28名の黙祷が始まり、松本道利君の開会あいさつ・西浩司君の乾杯音頭・そして懇親会に入り、旧交を温め最高に盛り上がりしました。待ちに待ったカラオケタイムでは、四方谷忠良君(プロ級)・岩瀬直三君(話術)・高瀬好昭君(衣裳芸人)方々の特殊技能で最高のムードになった。過去に5回程54期生同窓会を開催したが、今回ほど思い出に残る同窓会はなかった。

懇親会時間は刻々と過ぎる。校歌・応援歌の斉唱は懐かしい神田久志本の校舎を想い一杯歌った。そして、当同窓会の一歩の目玉として「木遣り音頭」を奥山脩己君(曾称)に披露して頂き、全員が「アツパレ」最高でした。一生